

★難関大学を目指そう！



【概要】4月20日(木)、本校成績上位者(3年23名,2年13名)を集め、難関大学へ向けた激励会を開催した。校長の激励のあと、進路主任と外部講師から具体的な学習法や心がけなどが話され、先輩方に負けないようチーム開邦として頑張る決意を固めた。学校としては「K10+講座」という特別講座を開講する。



先輩の合格体験に学ぶ

【PTA主催 パネルディスカッション】

5月6日(土)PTA主催のパネルディスカッションが開かれ、全校生徒の前で8人の卒業生が大学合格体験を語り合った。この催しは合格した先輩の体験談を直接在校生に聞いてもらい、志望校選択や勉強法の参考にしてもらうために毎年行っているものである。

Q:受験勉強と部活動の両立はできるか

A:赤嶺洋哉「3年間バスケをやった。開邦の部活は長時間やることはないの両立は難しい。部活をやると仲間ができるし気分転換になる。体力もつく。両立は十分可能と思う」

Q:塾は通った方がいいか

A:田中大輝「2年後半から通っていた。集団の授業で個別の自分のペースが合わず3年の11月にやめた。入っていいこともあるが、すべてがいいとはいえない。」



Q:受験勉強でカベがあったかどう乗り越えたか

A:潮平俊也「6月まで模試で国語が6割しかとれず苦しかった。基礎の定着を繰り返し、過去問の解き方を何回も確認して何とか本番で8割とれた。」



開邦通信

第2号

平成29年5月
沖縄県立開邦
中学・高等学校
校長 上原 昇

1年生 宿泊研修 友達ふえた

4月26日(水)~27日(木)、玉城青少年の家で1年生の宿泊研修が実施された。研修の目的は、友人を増やすこと、集団生活に慣れること、学習習慣を身につけることである。最初は緊張気味であった生徒もレクリエーションや班活動で打ち解け、和やかに談笑する姿が見られた。同じ中学から一人しか入学していない生徒もこの宿泊研修を通して友人が増え、楽しく充実した学校生活が送れるようになるのである。



行事や部活も大切です



みなさん、こんにちは。4月初めの緊張が解け、学校行事を通して友人も増えてきました。開邦高校は60を越す中学校から生徒が入学してきますので行事や部活動を通して友人や仲間を増やすよう大いに奨励しています。本校の一般的なイメージでは、「勉強ばかり」だと思われがちですが、入学後のアンケートでは「意外と行事が多く盛り上がる。部活動も結構やってる」という感想です。そして、それらの活動を通してお互いを知り、友人が増え、学校生活に潤いがもたらされます。新入生も宿泊研修を通して「意外と面白い人が多い」とか、「信頼できる友人ができた」とかいう感想を書いています。今後も、勉強、行事、部活、どれも一生懸命取り組ませたいと思います。

PTA新役員体制 決まる

4月20日(木)、PTA評議員会があった。昨年度の行事報告や決算のあと、新役員の見解が承認された。新PTA会長には宮里憲氏、副会長に新城将孝氏、当真雅子氏、秋山幸子氏(中学)が就任した。宮里会長は「比嘉前会長の後を継いで子どもたちの進路実現や学校生活の充実のために親と学校が力を合わせて頑張りましょう」とあいさつした。

本校PTAは各種行事の出席率も良く、みなさん大変協力的である。北部離島地区の訪問や学年単位の茶話会もあり、楽しくためになるPTA活動を行っている。



歓迎！ 新任職員12名

4月15日(土)、首里の「ラ・フォンテ」で新任職員歓迎会を行った。今年の新任職員は本務8人、臨任4人の計12人である。校長あいさつ、乾杯のあと、本校選りすぐりのメンバーによる余興で盛り上げた。今年のテーマは「アナと雪の女王」だった。このほか、音楽科のオペラあり、芸術科の創作展示ありで春の夜を大いに楽しんだ。新任職員の余興審査は毎年厳しいが、今年は芸達者な新人が多く単位保留となった先生はいなかった。新任の先生方、共に頑張りましょう。



♣ もうすぐ中間テストです ♣

5月15日(月)から中間考査が始まる。連休や行事が多く試験範囲は少ないが、年度初めのテストなので、失敗しないよう早めに試験勉強を始めよう。

テストが終わると県高校総体がやってくる。部活動の集大成である。3年生を柱に大いに盛り上げてほしい。

